

令和3年度

水道事業の財政状況をお知らせします



水道は生活を支えるライフラインです。市では、水道水を安定してお届けするために、皆さまからの水道料金などを財源に、水道施設

の整備や維持管理を行っています。今回は、令和3年度の収支などについてお知らせします。

水道施設などを整備するための収入と支出 資本的収支



水道水をつくりお届けするための収入と支出 収益的収支



地域ごとの収支



水道事業などの公営企業会計では、日々の営業活動に必要な経費「収益的収支」と、施設の改良などに必要な経費「資本的収支」に分けて経理します。

令和3年度の収益的収支は、約1億6千万円の赤字でした。しかし、水道料金などの収入は、前年度から約0.4億円減っており、人口の減少に伴って、今後も減っていくものと見込まれています。

一方の資本的収支は、配水管約4.1キロメートルを整備するなど、約9億円の整備事業を行いました。不足した約7億円は、積立金を取り崩すなどして補いました。

令和3年度に行った主な整備事業は次のとおりです。

- ・中井配水池系耐震配水本管布設事業 3億8443万円
- ・土居地域遠隔監視システム整備事業 2億 460万円
- ・応急給水用加圧式給水車購入 1391万円

水道事業のこれから

人口減少に伴い水道料金収入が減少する一方で、施設の老朽化に伴い整備費用の増加が見込まれるなど、水道事業の財政状況は、今後厳しさを増していきます。そのため本市では「四国中央市水道事業経営審議会」を設置し、水道事業の経営について審議しています。

引き続き安全でおいしい水を皆さまにお届けするために、経営の合理化などの取り組みを進める一方で、全国の水道事業者同様、水道料金を見直していくことも求められています。

今年の異常渇水では、節水へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。引き続き、限りある水資源を有効に活用していただきますようお願いいたします。



今回整備した加圧式給水車。災害や漏水時には、高所にある受水槽に給水したり、短時間かつ効率的にポリタンクに給水したりできる。容量は2000ℓ。

問い合わせ先

水道総務課 28・6452